

身近な自然に学ぶ環境教育活動報告

フィールドソサイエティー

代表 久山 喜久雄

京都府

はじめに

当会は、「2年間で助成金を使用」に該当するため、経過報告と、今後の予定について、報告する。

環境学習の必要性が日増しに高まる中で、地域に根ざした総合的な取り組みが期待されている。それには、まず地域での自然的・人的資源を再確認し、その活かし方を探ることが必要となる。そのために、私たちは、培ってきた活動方法について、最新のフィールドデータを取り入れながら、その評価と今後の展開について検討すべく、今回の助成活動を計画し実践している。具体的には、ハード面での活動拠点のあり方の再検討や整備、ソフト面でのスタッフの充実、プログラムの開発等、環境学習の基盤整備を新たに行ってゆくことである。そして、活動においては、市民参加を前提に多様な意見を取り入れ、情報を開示していくことが望まれる。

その目的に応じて、今年度、以下の活動を行ってきたので報告する。

報告

1. 自然観察会の実施

当会の活動対象地区である大文字山ならびに法然院社寺林などでの、調査を兼ねた自然観察会の実施は、以下の通りであった。

- ① 6月12日 ゲンジホタルの観察会
- ② 7月4日 土壌生物の観察会
- ③ 7月10日 落ち葉の観察会
- ④ 10月23日 ムササビの観察会
- ⑤ 10月24日 きのこの観察会ときのご染めワークショップ
- ⑥ 11月7日 樹木の観察会

⑦ 12月5日 木の実の観察会

⑧ 2000年2月20日 冬鳥の観察会

⑨ 4月16日 岩石の観察会

これらの観察会へは子供から大人まで幅広い層の参加者を得た。

以下、内容と成果について要約する。

① ゲンジホタルの観察会

参加人数：37名（幼児～大人）

今年は出現日は平年並みであったが、6月上旬に雨天の日が少なかったためか、その後個体数が増えなかった。環境指標としてのホタルの生態は、人工河川の整備のしかたや地域住民の環境への意識を考えるうえで示唆に富むものであった。

② 土壌生物の観察会

参加人数：24名（小・中学生）

土壌の様子を比較観察し、道路沿い、スギ林、雑木林の違いを確認した。「触る・かぐ・見る」といった体感的な観察手法を用い観察結果をまとめた。その後、土壌生物の調査も試みた。ツルグレン装置を用いてダニやトビムシなど数種類の土壌生物の観察を行い、生態系の理解を促進させた。

③ 落ち葉の観察会

参加人数：10名（小学生～大人）

社寺林の樹木の調査と森の構造や食物連鎖について学んだ。生態系における循環をテーマに観察した。社寺林に優先する樹木とそれらの落ち葉が土に変化している様子を観察した。

④ ムササビの観察会

参加人数：30名（小学・中学・高校生）

ムササビ観察を通して森の生態を考えた。

繁殖期でないため、ムササビの行動は落ちつい

ており、じっくりと顔の表情まで観察ができた。
5頭を確認し、滑空する姿も観察できた。その後、
生息が維持できる環境について、参加者と話し
合った。

⑤きのこの観察会ときのご染めワークショップ

参加人数：19名（幼児～大人）

きのこの生態についてのスライドを上映し、野
外での調査・観察も行い、きのこの環境における
働きについて考えた。また、環境学習の手法の試
みとして、採集可能なきのこを材料に「きのこ染
め」を行い、帆布を染めた。終了後、アンケート
を行った。

⑥樹木の観察会

参加人数：14名（小・中学生）

大文字山にて、里山の樹木調査を行った。

林相を観察し、個々の樹木において幹の拓本を
とるなどして、樹種を判別した。特にアカマツ・
ヤマザクラ・クヌギ・クリ・コシアブラ・クロモ
ジについて、詳しい観察を行った。

⑦木の実の観察会

参加人数：25名（小・中学生）

季節を変え、社寺林での樹木の調査観察を行っ
た。ムクノキ・ナナミノキ・アリドオシタマミズキ・
クスノキ・ヤブツバキ・スギ・ヒノキ・アラカシ・
ツブラジイの実を採取し観察した。

⑧冬鳥の観察会

参加人数：26名（小学・中学・高校生）

冬鳥の調査観察を大文字山にて行った。しかし、
天候があまりよくなかったため、確認できたのは、
シジュウカラ、コゲラ、トビなど数種類にとどまっ
た。なお、観察の際、「自分が野鳥だったら」と想
定して、参加者と、鳥の生息する環境について考
えた。

⑨岩石の観察会

参加人数：15名（子供～大人）

大文字山や京都盆地の成り立ちを、地質時代ま
で逆上って学んだ。過去の環境を推測し、現在の

地盤の様子などを知るてがかりとした。そこから
土地利用についても考えを及ぼした。さらに、活
断層の観察も行い、防災についても考えを巡らす
ことができた。大文字山に産する石材が地元の寺
院などに利用されている現場も見ることができた。
自然と暮らしの繋がりが分かり、興味深かった。
岩石や鉱物の観察方法はハンマーやルーペを使っ
て行われ、リアルに観察することができた。

2. アンケートの実施

活動の自己点検としてアンケート調査を実施し、
今後も予定している。

「きのこの観察会ときのご染めワークショップ」
の際、このプログラムについての感想・意見を尋
ねた。（内容は別紙1）

子供たちの活動をふりかえって、アンケートを
とった。（内容は別紙2）

今後のアンケート結果とあわせて、役立てる予
定である。今年度の事業として、2000年5月に、
当会活動全般についてのアンケートを実施すべく、
目下作成中である。

次年度にもアンケートは2回予定し、すべての
集計を整理し、データ処理して報告する予定であ
る。

3. 資料収集

環境学習における施設やプログラムのあり方に
ついて意見を聴取し、活動の先進事例を調査する
ために、2000年3月21日、財団法人日本野鳥の会
を訪れた。主な質問事項は以下の通りである。

中でも、野鳥の会ネイチャースクール活動での
環境教育の理念や、地域や企業とのパートナー
シップについて詳しく聞くことができた。

環境教育活動について

1. 地域における環境教育活動の事例
2. 地域その他団体とのパートナーシップの

事例

3. 貴会の環境教育事業について 環境保全活動について

1. サンクチュアリでの活動
2. 里山保全に関する活動事例

次年度も、今後の環境学習プラン作りに活かすために、展示も含めた環境情報の提供の仕方や、市民参加のプログラムの実施について聴取すべく、琵琶湖博物館などを訪れ調査する。

また、地域づくりに環境学習の手法を取り入れ、「フィールドミュージアム」を実践している先進地へ調査、資料収集に赴く予定である。

4. 教材作成

野外での自然観察に役立つ教材として、紙芝居仕様の大型絵本の作成に取りかかっている。すでに、形式の見本と内容の企画を行った。今後（次年度活動）で作成を行う予定である。

企画案

7つのテーマについて作成する。

場面構成は各々5～7場面程度を設定し、本会の活動フィールドで観察可能な内容とする。また、自然の仕組みを考察できるなど、環境学習の教材として活用できる内容にしたい。

- テーマ
1. 野草
 2. 野鳥の暮らし
 3. ドングリ（タネ）
 4. 木と葉（紅葉）
 5. きのこと
 6. 冬ごし
 7. 動物

の指導による観察・調査を推し進めたい。同時に、アンケートの実施、資料収集を進め、事業終了時に、成果をまとめたい。

地域の特性を活かした環境教育プラン作りを目指している。

以上

次年度に向けて

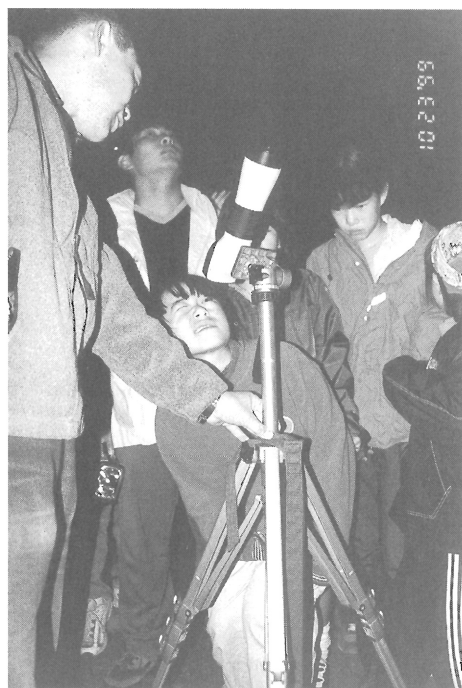
今年度の活動を次年度に引き継ぐかたちで、子供たちや市民の参加も得ながら、さらに、専門家



1. 1999年7月4日 土壌生物の観察会



2. 1999年7月10日 落ち葉の観察会

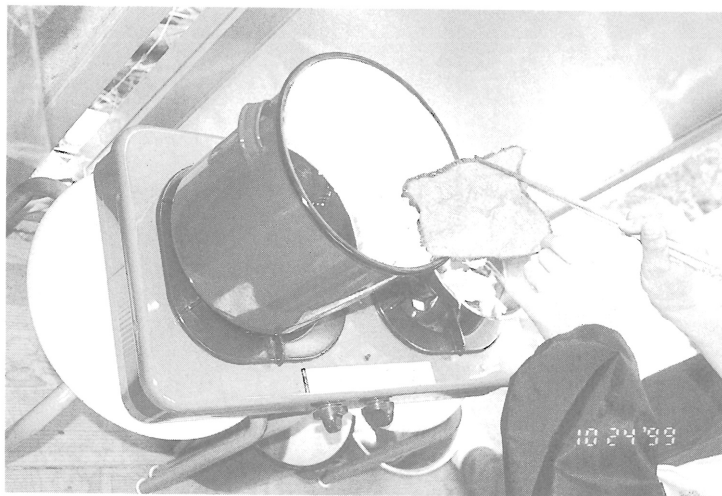


3. 1999年10月23日 ムササビの観察会



4. 1999年10月24日 きのこの観察会

5. 1999年10月24日
きのこ染めワークショップ



5. 1999年12月 5 日
木の実の観察会

7. 2000年 4 月16日 岩石の観察会



オープンルーム「きのこ観察・きのこ染め」(1999.10.24)

アンケート

今日のオープンルームはいかがでしたか？
ぜひ、みなさんのご意見（いけん）・ご感想（かんそう）をきかせてください。

- 「きのこかんさつ」はおもしろかったですか？
 - (1)とてもおもしろかった (2)まあまあおもしろかった (3)どちらとも言えない
 - (4)あまりおもしろくなかった (5)ぜんぜんおもしろくなかった
 - ◎どんなところがおもしろかった（おもしろくなかった）ですか？（具体的に）

- 「きのこぞめ」はおもしろかったですか？
 - (1)とてもおもしろかった (2)まあまあおもしろかった (3)どちらとも言えない
 - (4)あまりおもしろくなかった (5)ぜんぜんおもしろくなかった
 - ◎どんなところがおもしろかった（おもしろくなかった）ですか？（具体的に）

- 「きのこ染め・観察」について何かあたらしく発見（はっけん）したことや
はじめて体験（たいけん）したことはありましたか？
 - (1)たくさんあった (2)すこしあった (3)ぜんぜんなかった
 - ◎「あたらしく発見（はっけん）したことやはじめて体験（たいけん）したこと」はどんなこと
ですか？

- 次は、「きのこ」についてどんなことをやってみたいですか？

- 今まで、学校や家で「きのこ」について教えてもらったりする機会（きかい）はありましたか？
 - (1)たくさんあった (2)すこしあった (3)ぜんぜんなかった
 - ◎(1)、(2)と答えた人へ、、、「どこで、だれに、どんなことを教えてもらいましたか？」

その他、ご意見・ご感想があれば、うらに書いて下さい。ご協力ありがとうございました。

フイルドサイエンス（法然院森のセンター）活動についてのご感想・ご意見下さい。（裏面へ記入）

森の子クラブ
1999年度アンケート

スタート!!

